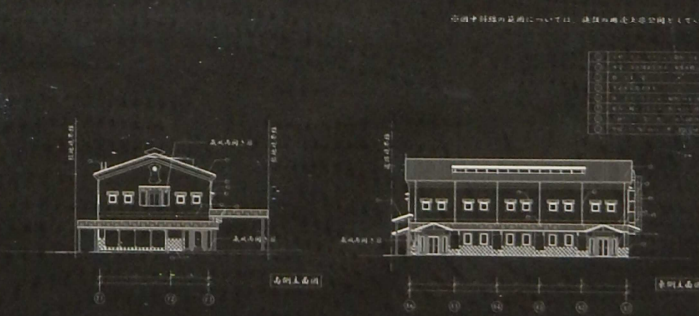
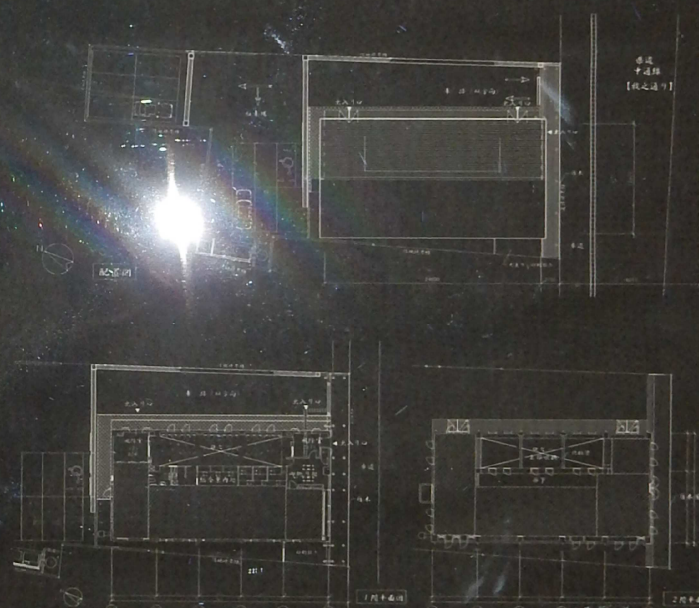


【設計趣意】

本作品は、市南端部に位置する歴史的な地区において歴史文化を感じられる商業の新しい街づくりを目標に掲げた地区整備計画に基き設計されています。地区は、地元の名産品「鈴鹿枝」に因んで「枝之通り」と名付けられた通りに面しており、連続的に商業を構築する事で統一感のある景観を創出し、地区の歴史的景観の再構築を担っています。

切迫みとしての景観の連続性に配慮し、駐車場を敷に構え、店舗を前面道路側に沿って一体的に構えています。そして、建物自体の外観は、この商業の調和に配慮し、両端をモダンとした、意匠の面影を有するものとしています。建物の中央に、新潟県産の安田島を模した金まこ型、棟上は漆喰調の仕上がり。そして、各出入口には、意匠の扉を設けています。

この建物が、枝之通りに面した他の建群と同様にいつまでも地元の人たちに愛され、地区の歴史的景観と合って存続していく事を祈念しています。



設計概要

■敷地面積
敷地面積：1,001.27㎡
前面道路幅員：16.0m
用途地域：商業地域
跡地指定：市街地地区
その他：地区地区、枝之通り、
計画規模：鉄筋コンクリート造

面積表

階	床面積(㎡)
2階	249.05(㎡)
1階	305.04(㎡)
合計	554.09(㎡)